

授業科目	チーム医療論				
担当者	井上悟・大西環・辻郁・中村靖子・齋藤典昭・岡崎満希子・大根茂夫・平林容子・林部美紀・足立一・吉田文（すべて実務経験者）				(オムニバス)
実務経験者の概要	オムニバス形式の内、主担当の井上は30年間大学病院での臨床経験があり、急性期病院に必須のチーム医療の実際の経験がある。特に医療安全、感染制御等のチームのリスク・マネージャーを経験していた。中村/大根/平林：言語聴覚士として病院などに勤務し、コミュニケーション障害及び嚥下障害の臨床経験がある。齋藤/岡崎：言語聴覚士として施設などに勤務し、小児領域の言語聴覚療法の臨床経験がある。作業療法士は各専門分野の臨床チーム実践が豊富にある。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

今改めて、チーム医療が求められる理由とチーム医療の事例、現状について紹介する。
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のチームでの役割・業務・等について紹介する。

■ 到達目標

チーム医療が求められる理由とチーム医療の事例、現状について認識する。
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のチームでの役割・業務・等について理解する。

■ 授業計画

- 第1回 PT：チーム医療とは？ 今更、なぜチーム医療が求められるのか？井上（実務経験者）
 第2回 ST：言語聴覚療法の基礎とチームでの役割（摂食嚥下障害）中村（実務経験者）
 第3回 ST：言語聴覚療法の基礎とチームでの役割（知的能力障害）齋藤（実務経験者）
 第4回 ST：言語聴覚療法の基礎とチームでの役割（発達障害）岡崎（実務経験者）
 第5回 ST：言語聴覚療法の基礎とチームでの役割（運動障害性構音障害）大根（実務経験者）
 第6回 ST：言語聴覚療法の基礎とチームでの役割（失語症）平林（実務経験者）
 第7回 OT：作業療法の専門性（辻）（実務経験者）
 第8回 OT：メイクアップを切り口としたチーム実践の実際（林部）（実務経験者）
 第9回 OT：スポーツを切り口としたチーム実践の実際（足立）（実務経験者）
 第10回 OT：動物介在を切り口としたチーム実践の実際（吉田）（実務経験者）
 第11回 OT：事例検討演習（辻）（実務経験者）
 第12回 PT：チームモデルとチーム医療の条件：井上（実務経験者）
 第13回 PT：チーム医療実践具体事例1：医療安全・感染制御：井上（実務経験者）
 第14回 PT：チーム医療実践具体事例2：がん、呼吸・循環器：井上（実務経験者）
 第15回 PT：チーム医療実践具体事例3：リハビリテーション・チーム：井上（実務経験者）

■ 評価方法

【科目試験（筆記試験またはレポート）】 70%、授業態度 30%で総合評価します。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎授業前には、教科書の授業該当範囲を予習しておくこと

■ 教科書

書 名：絵でわかる言語障害 言葉のメカニズムから対応まで 第2版
 著者名：毛東真知子
 出版社：Gakken 2376円

■ 参考図書

書名：チーム医療を成功させる10か条
著者名：福原麻希
出版社：中山書店, 2013年,3150円（最新版で）

■ 留意事項

オムニバスのため、各回の講義内容、順序・等については変更することがあります。

■ 講義受講にあたって